

ホワイトゴート1号機納入

桐生市庁舎ロビーに

オリエンタル 亀山市長自ら起動

事務機器製造のオリエンタル(桐生市相生町3-800-21、熊澤孝博代表社員)が0277-532411が開発した、文書裁断機で切断したコ

ピー用紙からトイレットロール紙を作る「ホワイトゴート」の1号機が9月28日、桐生市役所に納入され、同装置が設置される玄関ロビーでは、亀

山豊文市長らが参加し除幕式が開かれた。

「ホワイトゴート」は、通常は焼却処分している切断したコピー用紙と水を投入すると、自動で芯なしタイプトイレット

ロール紙を作るといふもの。今年度、経済産業省の「第3回ものづくり日本大賞」で優秀賞を受賞した。

除幕式であいさつした亀山市長は「環境問題が叫ばれる中、市民にもごみの減量への関心を高めてもらいたいと思い、1号機を導入した」とあいさつ。熊澤社長は「苦心惨憺(さんたん)したが、1号機が地元市役所に入り、ありがたいと思っ

ている」と述べた。



「ホワイトゴート」の起動スイッチを押す亀山市長

山豊文市長らが参加し除幕式が開かれた。

「ホワイトゴート」は、通常は焼却処分している切断したコピー用紙と水を投入すると、自動で芯なしタイプトイレット

ロール紙を作るといふもの。今年度、経済産業省の「第3回ものづくり日本大賞」で優秀賞を受賞した。

除幕式であいさつした亀山市長は「環境問題が叫ばれる中、市民にもごみの減量への関心を高めてもらいたいと思い、1号機を導入した」とあいさつ。熊澤社長は「苦心惨憺(さんたん)したが、1号機が地元市役所に入り、ありがたいと思っ

ている」と述べた。

いる」と述べた。

数値上昇も厳しさ続く

桐生信用金庫 7-9月期景況調査

桐生信用金庫は、同金庫取引先520社の調査をまとめた09年7-9月期地域産業景況動向調査を発表した。全業種の業況判断指数(DI)は、前期(09年4-6月期)から9.0ポイント改善となる

マイナスイナス41.8ポイント。全6業種中5業種でDIが上昇となったものの、数値は低水準で、最悪期は脱しつつかあるが回復度合いは低調で厳しい業況が続いているという結果になった。10-12月期はマイナスイナス28.2ポイントまで回復すると予測している。

経営上の問題点は前期に引き続き「売上の停滞・減少」「同業者間の競争激化」「利幅の縮小」が上位を占めた。重点経営施策も前期と同様、「経費の節約」「販路を広げる」が突出する結果となった。

業種別では、製造業が10.2ポイント改善しマイナスイナス

の開発も並行して進め、なび(東京都千代田区)のサポートを受けた。講座は17日から11月28日までの毎週土曜日、7日間で14講座を実施。開業計画から始まり、コン

同講座は、経済産業省の委託事業の一環で、繊維産業や伝統的建物群、食文化といった地域資

手掛けるアンビエントの

のサポートを受けた。

にっただ花トピア

太田市は17日まで、約300万本のコスモスが約7.6ヘクタールの休耕田に咲く「太田市にっただ花トピア2009」を、太田市新田文化会館「エアリスホール」(太田市新田金井町)北側で開催している。来場した観光客らは、花畑の中を散策し写真撮影を行うなどして楽しんだ。

同イベントは太田市



が休耕田の所有者や周辺企業らの協力を得て開催しているもので、今年で18回目。今回は7.6ヘクタールの休耕田を活用し、世界のコスモスやひまわりなど